

# 農地・水・環境保全の紹介

## 多面的機能支払(農地・水・環境保全向上)

### 第7回みえのつどい 開催

～みんなで取り組もう！ 更なる多面的機能の発揮を求めて～



開会の挨拶(石垣副知事)

平成 26 年 12 月 13 日(土) 三重県総合文化センターにおいて、県内の活動組織や県内外の関係者約 1,000 名が一堂に会して、「みんなで取り組もう！ 更なる多面的機能の発揮を求めて」をテーマに、第 7 回みえのつどいが三重県・三重県農地・水・環境向上対策協議会の主催で開催された。

つどいの内容は、全体会を中ホールで開催し、その後同センター内のセミナー室等に会場を移し、4 つのテーマに分かれて分科会が開催された。

全体会では、主催者を代表して三重県副知事 石垣英一氏より挨拶があり、引き続き来賓を代表して東海農政局整備部長 下舞寿郎氏、三重県議会議員 永田正巳氏より挨拶をいただいた。

その後、優秀活動組織紹介並びに表彰に移り、優秀活動組織に選ばれた 4 組織の取組がスクリーンで紹介され

た後、賞状と記念品が石垣副知事より授与された。受賞記念として、優秀活動組織の代表者が石垣副知事、永田議長、橋爪会長を囲み記念写真の撮影を行った。

セレモニー終了後、アトラクションとして、「何コレ・みえコレ 野良着のファッションショー」が開催され、音楽に合わせて舞台狭しとスポットを浴びながら歩いたりパフォーマンスしたりして、趣向を凝らした手作りの野良着を披露した。会場内は、笑い声や拍手で盛り上がるなか全体会は終了した。



野良着のファッションショーに出演された皆さん

休憩を挟み、参加者はそれぞれ参加する分科会の会場へ移動した。

第 1 分科会では、「環境啓発、都市住民との交流」をテーマに、一般参加の子供たちと一緒に、関西を中心に活動している「メダカのコタロー劇団」によるアニメ紙芝居「生態を乱す外来生物『くちびる城が外来生物にうばわれ



石垣副知事、永田議長、橋爪会長、受賞された活動組織の代表者との記念写真



「メダカのコタロー劇団」によるアニメ紙芝居

たって!?!』を鑑賞し生態系保全について学んだ。その後、活動組織から提供のあった農産物の抽選が行われ、当選した方は、嬉しいお土産を貰って満足そうであった。



抽選に当たり、事務局から土産を貰う参加者

第2分科会では、「補修メンテナンス、工法説明等」をテーマに、積水化学工業(株)、(株)ホクコン、(株)エフイーエス、フロンテエンジニア(株)、(有)シンエイ測器の5業者の担当者より、それぞれ特徴のある補修工法等をパワーポイントや、実演を通じて説明を受けた。その後、参加者がそれぞれの企業ブースを見て回り、日頃苦労している補修工法等の説明に聞き入っていた。



第2分科会の様子



第3分科会の様子

第3分科会では、「地域コミュニティ」をテーマに、NPO法人TEAM田援の筒井義富氏の講演後、地域コミュニティの強化に向けた意見交換を各テーブル別に行い、話し合った内容を発表し、講師から講評をいただいて終了した。

第4分科会では、「農村環境」をテーマに、カネコ種苗(株)伊東悟氏及び福花園種苗(株)藤田和義氏に講師をお願いし、景観形成作物の栽培ポイントと活用事例を紹介していただき、参加者は熱心に聞き入っていた。また、活発な意見交換が行われた。



第4分科会の様子

各分科会とも予想を遙かに超える参加者申し込みがあり、第1希望の分科会に参加できるよう調整を行ったが、会場の関係で第2希望、第3希望の分科会に変更をお願いした組織もあったため、ご迷惑をお掛けしました。

## 優秀活動組織の紹介

### 【施設部門】『<sup>あわのちょう</sup>ころ豊かなあわの村』(伊勢市)

この組織は、伊勢市栗野町<sup>あわのちょう</sup>で活動しています。

組織の結成は平成19年で、平成23年からは、交付金を活用して施設の長寿命化に取り組んできました。

この地域には、<sup>すば</sup>素掘りの農業排水路がたくさんあり、安全性や維持管理の負担が問題になっていました。そこで、地域のみなさんが話し合っ<sup>て</sup>排水路を施工しました。

施工に当たっては、地域を守る意識を高めるために、測量や設計、現場の交通整理など、自分たちでできることは自分たちで取り組んでいます。

### 【農村環境部門】

### 『<sup>とみおか</sup>富岡の土と水、環境を守る会』(玉城町)

平成19年から活動を続けるこの組織は、子どもからお年寄りまで、地域ぐるみで参加できる体制づくりに取り組んでいます。特に女性を役員に登用したことから、より活動の幅が広がりました。

「ひまわり栽培」や「ひまわり油作り」、「地域の昆虫調査」などの取組により、笑顔の絶えない富岡地区を目指した活動をしています。このような活動により、地域のみなさんの農村環境への理解が深まっています。



## 【コミュニティ部門】

### 『むらおこし・かみみいと』（明和町）

平成 19 年から活動するこの組織は、地域の 11 の地区がそれぞれ計画を立てて農道や施設の補修を行っています。

その一方で、地域全体の活動として、地元の小学校 4 年生が地域を流れるほらいがわ祓川で水生生物調査を行ったり、3 年生と 5 年生が昔ながらの農法で稲作体験をする活動に取り組んでいます。

この活動をととして、子どもたちからお年寄りまで、世代を超えて地域を守る取組を続けています。

## 【パブリシティ部門】

### 『いなぐの環境を守る会』（伊賀市）

平成 20 年から活動を続けるこの組織では、A3 用紙両面というボリュームの「いなぐ環境通信」を毎月発行しています。この通信では、組織が取り組む花作りの話題など、活動組織の情報をお伝えしています。

地元のみなさんは、毎月、この通信を楽しみにしており、地域の重要なコミュニケーションツールになっています。また、ケーブルテレビなどマスコミへの情報提供や、パネル展示による広報など、積極的なパブリシティにも取り組んでいます。

# 東海農政局「多面的機能支払 シンポジウム」開催

## ～農村地域における多面的機能の増進活動～



局長賞を授与される大野木環境保全会の豊田会長

去る 12 月 1 日（月）に名古屋市中区の東建ホールにおいて、東海三県の多面的機能支払の関係者約 300 名が参加し、「多面的機能支払 シンポジウム」が開催された。

農業・農村は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有している。しかし、近年の農村地域の過疎化、高齢化、混住化等が進み、集落機能の低下による地域の共同活動の困難化に伴い、用水路、水路、農道等の重要な地域資源の保全管理に支障を来している。多面的機能支払交付金は、このような状況に鑑み、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域活動に係る支援を行っている。

このことから、農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮することの大切さを再認識してもらうために、多面的機能支払シンポジウムが開催された。

東海農政局水間史人局長の開催挨拶の後、表彰式に移り東海農政局長賞、農村振興技術連盟賞、中日新聞社賞の受賞団体の発表と活動内容が映像等で紹介された後、受賞された 3 つの活動組織が壇上に上がり表彰状が授与された。

表彰式の後、農村振興局農地・水保管理室の野原弘彦室長より「活力ある農村づくりに向けた多面的機能支払の活用」と題しての基調講演があり、その後、「全国取組事例発表」と題して、県外の 3 組織（山形県：元泉地域農地・水・環境保全組織、栃木県：逆面エコ・アグリノ里、兵庫県：久田和環境保全会）がそれぞれ発表し、その後伊藤健吾准教授をコーディネーターとしパネルディスカッションが行われた。

「事務の簡素化に向けた取組」と題して、東海農政局整備部農地整備課諸岡課長の講演があり、その後東海農政局本郷秀毅局次長の閉会の挨拶があり、盛会裡に閉会した。



受賞された活動組織の記念撮影

| 賞 名         | 組織名               | 県 名 | 市町村名 |
|-------------|-------------------|-----|------|
| 東海農政局長賞     | 大野木環境保全会          | 三重県 | 伊賀市  |
| 全国農村振興技術連盟賞 | 下池地域農地・水・環境保全管理組合 | 岐阜県 | 海津市  |
| 中日新聞社賞      | 有協の農地・水・環境を守る会    | 愛知県 | 半田市  |